

## 投資家の大多数が企業のディスクロージャーに失望 第3回 サステナビリティ投資家調査

- 80%以上の投資家が企業は適切にリスクを開示していないと回答
- 投資家は投資判断において非財務情報を財務情報と同じように重視
- CEO のビジョンや戦略、ビジネスにおける長期的な価値創造シナリオの開示が求められている

EY が 2017 年に発表したサステナビリティ投資家調査では、投資家の大多数が企業のディスクロージャーに失望していると回答し、昨年よりもさらに質の高い「環境、社会、ガバナンス (environmental, social and governance、以下 ESG)」情報の開示を企業に求めていることが示されました。

昨今、パリ協定など、企業の持続可能な事業戦略や責任あるビジネスに影響を及ぼす、国際的な合意や声明が続けて発表されており、ESG の実践に関する企業の対応や開示が世界的に注目を集めています。今回の調査では、投資家の 80%以上が、企業は事業に影響し得るリスクを適切に開示していないと回答しました。ESG やその他非財務情報が重視されるにつれ、投資家はよりタイムリーで、比較・検証可能な情報を期待するようになっていきます。そして、これは一時的な流行ではなく、投資判断に対する ESG 要素の影響力は今後さらに広がっていくと予想されます。

本調査は今年で 3 回目となり、今回は世界各国の 320 を超える機関投資家にご協力いただきました。

調査結果の詳細は、下記リンク先をご参照ください。

<https://www.eyjapan.jp/newsroom/2017/2017-06-29.html>

※本調査の原文は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。

<http://www.ey.com/gl/en/services/assurance/climate-change-and-sustainability-services/ey-nonfinancial-performance-may-influence-investors>

### EY について

EY は、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

### EY Japan について

EY Japan は、EY の日本におけるメンバーファームの総称です。新日本有限責任監査法人、EY 税理士法人、EY トランザクション・アドバイザー・サービス株式会社、EY アドバイザー・アンド・コンサルティング株式会社 (1 月 19 日より) などから構成されており、各メンバーファームは法的に独立した法人です。

《本件に関するお問い合わせ先》

EY Japan BMC (Brand, Marketing and Communications)

Tel: 03 3503 1037 / Fax: 03 3503 1041